

青函自然体験活動交流事業

活動報告書

自然体験教育は人の五感を通して、
その生命力や自然に対する畏敬の
念、すばらしさ等を、感動と驚きを
もって伝える強い力を持っています。



青函自然体験活動交流事業

1 目的

少子高齢化による地域活力の低下が危惧されております。一方では、北海道新幹線開業による道南と青森との新たな文化経済交流が期待されております。

本事業は、自然体験活動を行う青森と函館両地域の活動団体の交流を通じて、「環境と観光の両立」、「青函圏の自然体験活動交流の可能性」を探り、「自然体験型観光」による青函圏地域活性化に結びつけようとするものです。

2 内容

「青い森の巨木写真展」や「ワークショップ」活動に取り組むNPO法人おどろ木ネットワーク(青森市)と、道南地域で「森づくり」や「動物による自然体験」に取り組む大沼流山牧場パドミュゼ株式会社との、自然体験活動による青函交流事業を始めました。

(1) 自然体験活動意見交換会

日 時：平成28年5月26日(木)

場 所：大沼流山牧場パド・ミュゼ株式会社

内 容：青函地域における自然体験活動可能性について

(2) 自然体験活動青函交流講演会

開催日：平成28年9月23日(金)

場 所：青森市男女共同参画プラザ5階AV多機能ホール

テーマ：人・自然・動物が協働する森づくり

講 師：大沼流山牧場パド・ミュゼ株式会社

代表取締役 宮本 英樹 氏

(3) 自然体験活動青函交流写真展

開催日：平成28年11月19日(土)～23日(水)

場 所：第1会場 函館市地域交流まちづくりセンター

第2会場 函館赤レンガ倉庫ベイギャラリー

内 容：青函地域における自然体験活動について紹介する写真展

大沼流山牧場パド・ミュゼとの意見交換

1 大沼流山牧場パド・ミュゼ

大沼流山牧場パド・ミュゼは、「森の暮らし」「農園の暮らし」「牧場の暮らし」の3つの暮らしを展開しており、北海道開拓・農業近代化において中心的な役割を果たした、在来和種馬である“どさんこ”(Paard)を中心に、大自然の中で生き物本来の暮らしや文化を体験することができる牧場を運営しています。



北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1



2 意見交換

平成28年5月26日(木)、自然体験活動を介した青函交流の可能性を求めて道南の大沼流山牧場パド・ミュゼを訪問し、宮本社長や大藤氏との意見交換を行いました。その結果、①宮本社長を講師とする講演会を青森市で開催すること②おどろ木ネットワークが取組んでいる「青い森の巨木写真展」の函館展を開催することになりました。

平成28年11月22日(火)、宮本社長との2回目の意見交換会を行いました。その結果、来年も交流を継続し、将来、両地域の子どもたちがステイするような青函交流に繋がりたいということで一致しました。



5月の意見交換の様子



11月の意見交換の様子

自然体験活動青函交流講演会

開催日：平成28年9月23日(金)

場 所：青森市男女共同参画プラザ5階AV多機能ホール

内 容：講演会

テ ー マ：人・自然・動物が協働する森づくり

講 師：どさんこミュゼ株式会社 代表取締役 宮本 英樹

大沼流山牧場パド・ミュゼの宮本英樹社長をお迎えし、「人・自然・動物が協働する森づくり」と題した講演会を青森市の男女共同参画プラザAV多機能ホールで開催しました。

講演では、『パド・ミュゼは6次産業化法に基づく事業計画の認定事業者であり、森林や自然という空間を利用したビジネスの展開を考えている。人間と自然を繋げて、より多くの共感を得る努力をしている。青森には北海道には見られない自然美しさや歴史・文化を感じる。この機会に何か一つでも一緒にやっていきたいが「木育マイスター」や「森の水族館」はいかがだろうか』等、わくわくするようなお話が沢山ありました。講演終了後、参加者からの質問も沢山とび出し、2時間30分の講演時間いっぱいを使きった熱気あふれる講演会となりました。(参加者は46名)



自然体験活動青函交流写真展

開催日: 平成28年11月19日(土)~23日(水)

場 所: 第1会場 函館市地域交流まちづくりセンター

第2会場 金森赤レンガ倉庫 ベイギャラリー

■第1会場 函館市地域交流まちづくりセンター

青森市での自然体験活動の取組を函館市民に知ってもらい、将来、自然体験活動青函交流に繋がれようと、函館市地域交流まちづくりセンターと函館市金森赤レンガ倉庫ベイギャラリーの2つの会場を使用し、「自然体験活動写真展」を開催しました。

第1会場の函館市地域交流まちづくりセンターは函館市末広町の十字街電停そばに位置し、函館市民の活動の場や観光案内の場として利用されています。ここでは、「ちびっこ巨木撮影会2016」の様子の写真や子どもたちが自ら撮った写真12点と馬場山のアカマツ巨木の拡大写真1点を展示しました。会場は洋風でクラシックな落ち着いた雰囲気をもった所でした。残念ながら入場者が少なく、今回は子どもたちが集まるような何らかの仕掛けが必要かと思われました。



■第2会場 金森赤レンガ倉庫 ベイギャラリー

第1会場から歩いて5分くらいのところに第2会場となった函館市金森赤レンガ倉庫ベイギャラリーがあります。ここには、青森県内を取材して撮ったA1サイズ写真10点と3.6m×2.2mの巨大拡大写真3点を展示した他、青森県の巨木を紹介したビデオ放映、裂き織やこぎん刺し等の工芸品等も展示しました。館内には観光客が非常に多く、立ち止まって写真を指さす外国人観光客もあり、巨木には興味津々のようでした。



展示全景



青森県が誇る垂乳根のイチヨウとリンゴの巨木



巨木に見入る男性客



青森市の物産コーナー



巨木ビデオの放映

終りに

NPO法人おどろ木ネットワークでは、「ものづくり交流事業」や「体験事業」の活動を行っております。昨年から青森市浅虫で開催している「ちびっこ巨木撮影会」は特に好評であり、同イベントを地元へ定着させることを検討しております。

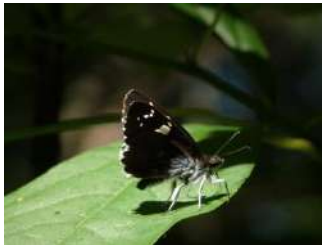
青森市浅虫地区は、陸奥湾と森林公園の間に位置し風光明媚で歴史ある温泉地ですが、高齢化と人口減少に苦しんでおり、地域活性化に取り組む地域住民から、「このイベントを同地域に定着させたい」との声が出てきております。

青森市市民活動活性化事業に応募したのは、自然体験活動による青函交流の可能性が開ければ、北海道新幹線開業の機運に便乗して両地域の交流人口増加を期待できると思ったからです。

浅虫温泉は青森市民にとってかけがえのない保養地です。「ちびっこ巨木撮影会」を浅虫温泉の恒例イベントとして定着させ、近隣県からの自然体験型修学旅行や「巨木と温泉の癒し」を求める首都圏の女性客の誘客に繋がっていきたいものです。



ちびっこ巨木撮影会
2016





馬場山のアカマツ巨木

〒038-0003

青森県青森市大字石江字江渡106番地227

特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

Tel 017-781-4612 Fax 017-781-4612

URL <http://www.odorokikobo.com/>

E-mail odoroki7@bc4.so-net.ne.jp

